

菊池温泉街リブランディング事業 食をきっかけに観光客を呼び込む

# 温泉街の再生に向けた ブランドコンセプト<sup>※</sup>が誕生

市では、温泉街のにぎわいを取り戻すため、令和5年度から  
官民連携で、温泉街リブランディング事業に取り組んでいます。

【問い合わせ先】観光振興課 ☎0968(25)7273



リブランディング事業が  
なぜ今、必要なのか

菊池温泉は「美肌の湯」と  
いわれるほど、肌ざわりが良く、  
日本の名湯百選にも選出され、  
地元はもちろん、観光客にも  
親しまれてきました。  
しかし、近年の個人旅行を  
中心とした旅スタイルの変化  
への対応の遅れにより、温泉  
街の宿泊者は横ばい。人材不  
足や施設の老朽化、後継者不  
在の状況も重なり、温泉街そ  
のものの存続が危ぶまれてい  
ます。

菊池ならではの  
グルメ作り

菊池川流域は、2千年以上  
の米作りの歴史があり、日本  
遺産にも選ばれています。  
水に恵まれた「水とともに  
生きるまち」で育まれた食材や、  
歴史文化をストーリーとした  
菊池ならではのグルメ作りが  
進行中です。新しいグルメを  
きっかけに、「この料理を食べ  
に菊池温泉へ行く」という観  
光客を増やしていきます。

「水とともに生きるまち」  
を一皿で表現

こうした状況を受け、市で  
は宿泊施設や飲食店などの  
地元民間事業者を中心に、行  
政・観光協会・商工会・J.A.  
金融機関・大学などと連携し、  
温泉街の持続可  
能性に向けて、取  
り組んでいます。

参画店舗で使用す  
る敷き紙。菊池のスト  
ーリーやブランドコン  
セプトが記載されてい  
る。

この取り組みは、市内の飲  
食店や宿泊施設などで構成  
する「食を通じた温泉街魅力  
化プロジェクト」のメンバーが  
中心となって実施。約半年に  
わたり、毎月の会議と試作を  
重ねてきました。  
今回のグルメはすでに提供  
している店舗もありますが、  
今後、改良を加え、パンフレッ  
トやホームページで紹介して  
いきます。



2月12日に報道機関や関係者を招待して、中央公民館で今年度の取り組み発表会を開催しました



## 食を通じた温泉街魅力化プロジェクト



温泉街存続のため、  
「食」で盛り上げたい

プロジェクトリーダー  
神田祐樹さん(肴屋 夢路)Ⓔ  
プロジェクトメンバー  
吉岡聖昇さん(万彩工房)Ⓔ

【神田さん】温泉街が10年後には消滅するかもしれな  
いと試算され、周囲に声を掛け続けてきましたが、いま  
だに危機感が感じられない。料理人として、菊池の食  
材を生かし、皆さんと盛り上げていきたいですね。  
【吉岡さん】「食のまち」実現のため、いろんな店や人が  
集まれば、多様なアイデアが生まれるはず。参画店舗  
が増えるよう関係機関と連携し、働き掛けていきたいです。



菊池は料理人にとって  
理想の場所

メニュー開発アドバイザー  
西澤明奈さん  
長野県在住のフレンチシェフ。昨年、日  
本最大級の若手料理人コンペティション  
(RED-U35)でブロンズエッグを受賞。

長野県では、冬の食材探しに苦労することがありま  
すが、菊池を訪れ、豊かな食材環境に心から驚きました。  
多彩な食材が身近に揃うこの土地は、料理人にとって  
まさに理想的な場所。そんな菊池だからこそ、食の  
魅力をさらに発信し、「食を楽しむために足を運びた  
くなるまち」へ発展していく可能性を強く感じました。  
「食のまち」として、輝いていくことを期待しています。



1 ボードゲーム喫茶しんきんぐ



2 万彩工房



3 肴屋 夢路



4 cafe zakka bb

### ～「菊池のストーリー」をメニューに乗せて～

- 1 菊池和紅茶クリームソーダ、極・石焼きスイートポテト
- 2 和名のローストビーフ
- 3 和名の炭火炙りとにんにく玉子、琥珀のだし巻きが織りなす「至極の和重」
- 4 菊池の水田ごぼう天おむすび、菊池の恵みご褒美肉まん

※ブランドコンセプト … どのような価値を提供するかを明確に定めた核となる考え方

水とともに生きるまち  
阿蘇山麓に位置する菊池市は、  
2千年以上にわたり連綿と続く  
田園風景に囲まれた、水とともに  
生きるまち。  
豊かな水で育まれた米、その稲  
わらで育った牛、その堆肥は田を  
肥やして米を育てる。この循環  
と自然との共生が、今も息づいて  
います。